

プレスリリース

電気自動車キッチンカーを動かし、500 人が 1 分間の暗闇で未来を誓う夜――

北海道の家庭から始まる脱炭素革命、 石狩市で開幕

「GX リーダーズフォーラム」

グリーンチェンジ

～家庭のアクションで、始まるストーリー～

2026 年 4 月 12 日（日） 10:00～18:30

花川北コミュニティセンター（北海道石狩市）

石狩市 共催 / 北海道 後援 / 入場無料・申込不要

約 24%

北海道の家庭由来
温室効果ガス排出比率

500 名

想定参加者規模

4 店舗

EV 電力で動く
キッチンカー

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区 西北海道ブロック協議会（事務局：苫小牧市、会長：及川雄也）は、2026 年 4 月 12 日（日）に北海道石狩市の花川北コミュニティセンターにて、脱炭素社会の実現を目指す市民参加型イベント「グリーンチェンジ～家庭のアクションで、始まるストーリー～」を、石狩市との共催で開催いたします。

北海道の温室効果ガス排出量の約 24%が家庭由来という現状のなかで、「我慢・節制」ではなく「豊かさを保ちながらの脱炭素」を体験できる場として企画。EV がキッチンカーに電力供給する V2L 実演、2019 年度日本 JC 会頭による特別講演、そして会場全体が一斉に明かりを消す「地球を守る 1 分間」のフィナーレ演出など、映像・写真映えする体験コンテンツを多数ご用意しております。

メディアの皆さまへ：取材・撮影ポイント

PHOTO
POINT

01

「CO₂ゼロ・キッチンカー」V2L 実演 10:00～17:00（駐車場）

日産リーフ・三菱アウトランダーPHEV が 4 台のキッチンカーに直接給電。発電機・排気ガスゼロの「脱炭素×グルメ」の現場をご取材いただけます。発煙・エンジン音なしの静かな調理現場は写真・映像映えます。

PHOTO
POINT

02

「脱炭素先行地域」石狩市の最前線 10:00～17:00（ロビー）

国内最大規模のデータセンター集積地・石狩市が推進する「再エネ地産地活」を市民向けに公開。また本イベント自体が「いしかり J-VER」購入により CO₂ゼロを実現するシンボリックな事例です。

PHOTO
POINT

特別講演「家庭から始める脱炭素革命」 17:34～18:19（ホール）

2019 年度 日本 JC 会頭・鎌田長明氏（日本カーボンニュートラル協会理事）による 45 分

03

間の特別講演。全国の青年会議所をリードした論客が、「どう実行するか」を具体的に問います。

PHOTO
POINT

04

フィナーレ「地球を守る1分間」 18:24～（ホール）

会場の照明が落ち、来場者がスマートフォンの光を一斉点灯→消灯。暗闇と静寂のなかで未来を誓うクライマックスシーン。その後、子どもたちの「未来メッセージ」がスクリーンに映し出されます。撮影・録画のご案内をいたします。

■ 開催概要

事業名	「GX リーダーズフォーラム」グリーンチェンジ～家庭のアクションで、始まるストーリー～
日時	2026年4月12日（日） ブース・キッチンカー：10:00～17:00 / 講演会：17:30～18:30
会場	花川北コミュニティセンター（北海道石狩市花川北3条2丁目198-1 TEL：0133-74-6525）
主催	公益社団法人日本青年会議所 北海道地区 西北海道ブロック協議会
共催	石狩市
後援	北海道
連携・協力	環境省 / 石狩青年会議所 / 石狩振興局 / 日本 JC シニア・クラブ / 日産プリンス札幌販売株式会社 / 北海道三菱自動車販売株式会社
入場	無料・申込不要（どなたでもご参加いただけます）
規模	北海道民（子育て世代・ファミリー中心）+ JC メンバー 計 500 名規模

■ 当日プログラム

【昼の部】体験ブース・キッチンカーエリア 10:00～17:00

コンテンツ	内容・見どころ
★ EV・PHEV+キッチンカー連携実演	日産リーフ・三菱アウトランダーPHEVのV2L機能でキッチンカー4店舗に電力供給。発電機・排気ガスゼロの「CO ₂ ゼロキッチンカー」を実演。脱炭素と防災備蓄の両立を体感。
★ いしかり J-VER（カーボンオフセット）	石狩市発行のクレジットでイベント自体のCO ₂ を相殺。「脱炭素を語るイベントがCO ₂ ゼロ」という石狩市共催ならではのシンボリックな取り組み。
石狩市ブース	「脱炭素先行地域」として国内最先端の再エネ地産地活・データセンター群への供給を紹介。補助金情報・子ども向け風力測定体験・ケミカルリサイクル双六も実施。
北海道・石狩振興局ブース	水素燃料電池車「トヨタ MIRAI」の展示、北海道ゼロチャレ！家計簿（CO ₂ 見える化アプリ）の紹介。
ソーラーカー工作体験	子ども対象・先着100名。木製ソーラーカー組立キットを作成し実際に走らせる。持ち帰り可能。
CN2050 脱炭素ボードゲーム	法政大学川久保研究室の科学的根拠に基づくCO ₂ 削減量データを活用した協力型ボードゲーム体験。
だいたらポーズ着ぐるみ	環境省「ネイチャーポジティブ」推進キャラクターが登場。毎時0分に10分間会場を練り歩き子どもたちとふれあい。

CO₂削減宣言アクション

「いしかりゼロカーボンの木」へのメッセージ貼り付け、わが家のデコ活宣言シート記入、ビンゴ大会（景品：エコバッグ）。家族で参加できる脱炭素宣言コーナー。

【夜の部】特別講演プログラム 17:30～18:30

時刻	内容
17:30	開会・趣旨説明（CO ₂ 削減量クイズ） 副委員長 横山 美穂
17:34	【特別講演 45 分】「家庭から始める脱炭素革命」 鎌田 長明 氏（日本カーボンニュートラル協会 副理事長・公益社団法人日本青年会議所 2019 年度 会頭）
18:19	総括・CN-action2026 紹介 委員長 土門 哲也 / 地域開発会議 副議長 味酒 安儀
18:24	★フィナーレ「地球を守る 1 分間」—— 会場の照明を落とし、参加者がスマートフォンを一齐点灯→消灯。500 人が 1 分間の暗闇と静寂のなかで未来を誓う。その後、子どもたちの「未来メッセージ」をスクリーンに投影。
18:30	アンケート記入・閉会

■ 特別講師プロフィール

鎌田 長明 氏

（かまだ たけあき）

一般社団法人日本カーボンニュートラル協会 副理事長

公益社団法人日本青年会議所 2019 年度 会頭

企業経営者として自ら脱炭素化に取り組みながら、日本 JC 会頭として全国の青年会議所をリード。現在は日本カーボンニュートラル協会の理事として、家庭・地域・企業の脱炭素実践を幅広く支援。「やるべきか」の段階を超え、「どう実行するか」を具体的に問う論客として知られる。

■ 開催背景

北海道の温室効果ガス排出量の約 24%は家庭部門由来（全国平均を上回る水準）

北海道の脱炭素化には家庭レベルでの行動変容が不可欠です。しかし「我慢・節制」という負のイメージが定着し、多くの市民が環境問題を「自分ごと」として捉えられていないのが現状です。本イベントでは「脱炭素＝豊かな生活の選択」という価値観を体験を通じて伝えることで、家庭からの自発的な行動変容を促します。

電気自動車の V2L 機能を活用したキッチンカー実演は「脱炭素が家計にも防災にも役立つ」ことを視覚的・体験的に示す試みです。また、石狩市が発行するカーボンオフセットクレジット「いしかり J-VER」を購入して本イベント自体の CO₂を相殺することで、「脱炭素を語るイベント自体が CO₂ゼロ」というシンボリックなメッセージを体現します。購入費用は石狩市環境まちづくり基金として森林整備・環境教育に活用されます。

■ 取材・お問い合わせ先

【担当】

公益社団法人日本青年会議所 北海道地区
西北海道ブロック協議会
2026 年度 地域未来創造委員会
副委員長 横山 美穂
TEL：090-9827-3404

【事務局】

〒053-0022
北海道苫小牧市表町 1 丁目 1-13
苫小牧経済センタービル 6F
TEL：0144-34-3627 FAX：0144-32-9762
URL：https://www.jaycee.or.jp/hokkaido/nishihokkaido